

M1+ シリーズ



特徴と概要

M1+シリーズファイバーレーザーは、MOPA構造を採用し、高レベルのパルス整形制御が可能な優れたレーザー性能を持ちます。Q-スイッチ技術と比べて、高いピークパワーを維持できるだけでなく、MOPA構造により、パルス繰り返し周波数（PRF）とパルス幅は独立して制御可能です。この特徴は、レーザーマーキングのような材料加工への応用では材料に合わせた調整が可能で重要な要素です。また信頼性が高く堅牢なユニットです。

アプリケーション

- 金属表面の処理、コーティングの剥離
- アルミ表面へのブラックマーキング
- 半導体産業および電子機器業界のアプリケーション
- 広い面積への彫刻
- プラスチックまたはその他材料へのマーキング
- ステンレスへのカラーマーキング

定格

型名	YDFLP-20-M1+-S	YDFLP-30-M1+-S
M2(Mスクエア)	< 1.3	
光供給ケーブル長	2m	
平均パワー(公称値)	>20W	>30W
最大パルスエネルギー	0.5mJ	
フルパワー繰返し周波数範囲(@200ns)	40~2000 KHz	60~2000KHz
パルス繰返し周波数範囲	1~2000KHz	
パルス幅	6~250 nS	
平均パワー安定性(長時間)	<5%	
冷却方式	空冷	
供給電圧	DC 24V	
消費電流	<8A	<10A
消費電力(@20°C)	120 W	140 W
中心発振波長	1064 nm	
発振バンド幅@3dB	<15 nm	
偏光方向	ランダム	
反射防止保護機能	yes	
出力ビーム径	7±0.5 mm	
出力パワーチューニング範囲	0~100 %	
動作温度	0~40°C	
保管温度	-10~60°C	
重量	8 Kg	
サイズ	315mm x 220mm x 99mm	

※仕様は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

[仕様のご確認や工法のご相談、加工テストなどお気軽にお問い合わせください]

JPT Japan
日本 JPT 株式会社

〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-5-14 Wise Next 3F
TEL 045-285-9394 FAX 045-285-9501
mail: info@jptjp.jp web: https://jptjp.jp